

造影検査における問診及び同意書

医療法人 昭仁会 小川外科

| | | | | | | | | | | |
|-----|--|-----|-----|-------|---|---|---|-----|--|---|
| 氏名： | | 性別： | 男・女 | 生年月日： | 年 | 月 | 日 | 年齢： | | 歳 |
|-----|--|-----|-----|-------|---|---|---|-----|--|---|

造影剤を使用して検査を行うにあたり、下記の質問にお答えください。

1. 今までに造影検査を受けたことがありますか？ はい・いいえ
「はい」と答えられた方、その時に副作用はありましたか？ はい・いいえ
吐き気 嘔吐 発赤 かゆみ くしゃみ あくび 頭痛 血圧低下 意識障害
その他()
2. アレルギー体質、アレルギー性の病気はありますか？ はい・いいえ
じんましん アトピー性皮膚炎 アレルギー性鼻炎 食物アレルギー()
薬のアレルギー() その他()
3. 喘息はありますか？ はい・いいえ
4. 甲状腺機能亢進症(バセドウ病など)、骨髄腫、マクログロブリン血症、テタニー、褐色細胞腫の診断または疑いといわれていますか？ はい・いいえ
5. 心臓、腎臓、肝臓に異常があるといわれたことはありますか？ はい・いいえ
(具体的に：)
6. 糖尿病のお薬を飲んでいますか？ (造影CT検査のみ) はい・いいえ
薬品名：メトグルコ錠 メトホルミン塩酸塩錠 グリコラン錠 ネルビス錠
メディット錠 メタクト配合錠 エクメット配合錠 イニシンク配合錠
ジベトス錠 ジベトンS腸溶錠 その他()

※「はい」の場合は原則、検査前後2日間(検査当日と合わせて5日間)は服用を中止する必要があります。

女性の方への質問です。

7. 妊娠中または妊娠の可能性はありますか？ はい・いいえ
8. 授乳中ですか？ はい・いいえ
※造影検査後48時間の授乳、搾乳はできません。

職員記入欄

造影剤腎症発生予防の為、3ヶ月以内の血清クレアチニン値、eGFR値を記入してください。
3ヶ月以内のデータがない場合は最後に採血した数値を記入してください。

血清クレアチニン値 _____ mg/dl eGFR _____ ml/min/1.73m

測定日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 医師署名 _____

造影検査同意書

造影検査における副作用の説明を受け、検査を受けることに同意します。
なお、緊急の処置を行う必要が生じた場合は、その処置の実施に同意します。

_____ 年 _____ 月 _____ 日 氏名 _____

保護者または代理人氏名 _____

医療法人 昭仁会 小川外科

造影検査を受けられる患者様へ

医療法人 昭仁会 小川外科
TEL 0721-24-8686

○造影剤とは

小さな病変や正常部位との区別がつきにくい病変においても、造影剤を用いることで明瞭に描出でき、より正確な診断を可能とします。

○副作用

ほとんどの人は異常なく検査が終わりますが、まれに下記のような副作用が検査中もしくは検査後に生じる方がいます。

- ・ 軽い副作用：吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、発疹、かゆみ、発熱、せきなど(5%以下)
- ・ 重い副作用：呼吸困難、意識障害、ショック、けいれん、腎不全など(0.01~0.02%)
- ・ 症状、体質によっては約10~20万人につき1人(0.0005~0.001%)の割合で死亡する場合があります。
- ・ 合併症として、造影剤が血管の外に漏れ、腫れ、痛みを伴うことがあります。ほとんどは時間がたてば吸収されますが、漏れた量が非常に多い場合には、別の処置が必要になることもあります。

(※当院で造影検査を行う際は、安全を確認しながら慎重に行っています。)

○遅発性副作用について

造影検査を受けられた方の中で、検査終了後1時間程度から数日後に、遅れて上記症状の造影剤副作用がみられる場合があります。もし造影検査を受けられ遅発性副作用と思われる症状がありましたら、病院までお問合せ下さい。

○造影剤の副作用の予測と緊急処置について

造影剤で副作用を起こすかどうかを調べる方法は現在のところありません。当院では副作用に対応できる体制を整えて検査を行っており、緊急時には最善の処置を施行いたします。

○造影剤を使えない場合

下記の方については、副作用リスクがあるため造影剤が使えない場合があります。

- ・ 以前に造影剤を使った検査で具合が悪くなった方
- ・ 腎機能が悪い方 (e-GFR値30未満は検査負荷、e-GFR値45未満の方は主治医と相談)
- ・ 喘息のある方
(造影CT検査を受けられる方)
- ・ ヨードアレルギーをお持ちの方
- ・ 甲状腺の病気をお持ちの方
(造影MRI検査を受けられる方)
- ・ ガドリニウム造影剤に副作用のある方
(MRIで造影する時は、主にガドリニウム製剤です)

○糖尿病の方(造影CT検査のみ)

ビグアナイド系糖尿病薬とヨード系造影剤を併用すると、乳酸アシドーシスという病状をおこすおそれがあります。

下記の糖尿病薬を服用されている場合、医師に相談し、一時的に服用を中止して下さい。

※緊急の場合を除き、造影剤使用の前後2日間(合計5日間)服用中止

| | | | |
|---------|-------------|-----------|-----------|
| ・メトグルコ錠 | ・メトホルミン塩酸塩錠 | ・グリコラン錠 | ・ネルビス錠 |
| ・メデット錠 | ・メタクト配合錠 | ・エクメット配合錠 | ・イニシンク配合錠 |
| ・ジベトス錠 | ・ジベトンS腸溶錠 | | |

※乳酸アシドーシスとは、胃腸症状(悪心、嘔吐、腹痛、下痢など)、倦怠感、筋肉痛などの症状から始まり、過呼吸、脱水、低血圧、低体温、昏睡などの症状へと進行していく致死率の高い疾患です。

○造影剤の使用方法

造影CTの場合

腕の静脈から自動注入器を用いて造影剤を注入して撮影を行います。

※ほぼ全例で体が熱くなりますが、血管の刺激に伴う正常な反応で心配ありません。

造影MRIの場合

腕の静脈から少量(4~20ml)の造影剤を注入して撮影を行います。

○検査前の食事について

禁食です。午前の検査の方は朝食を、午後から検査の方は昼食をお控え下さい。

また、水分に関しては少量の水やお茶など飲んで頂いて構いません。

血圧の薬など、常用薬はいつも通り服用してください。

○検査後の注意事項

帰宅後は食事や入浴など日常生活は普段どおりで構いませんが、以下の点に注意して下さい。

- ・水分を多めにとってください。造影剤は尿中に排泄されます。尿中排泄率は、1時間でおおよそ50%前後、24時間で93~99%です。
- ・帰宅後、皮膚のかゆみや発疹が出ることや、気分が悪くなった場合には、夜間でもすぐに当院までご連絡または来院するか、救急対応出来る病院へのお問い合わせをお願いします。